

埼玉県名勝指定100周年記念 特別展「天覧山」を開催

飯能市立博物館で、令和4年10月16日（日）から12月11日（日）まで埼玉県名勝指定100周年記念 特別展「天覧山」を開催します。

かつて愛宕山、さらには羅漢山などと呼ばれた現在の天覧山は、明治16年に明治天皇が登られたことを記念してその名が付けられ、大正11年（1922年）には埼玉県初の名勝に指定されました。



埼玉県名勝指定 100 周年記念 特別展「天覧山」
<https://www.city.hanno.lg.jp/article/detail/6278>

天覧山は、標高は低いながらも眼下には飯能市街が見渡せ、春は桜・ツツジ、初夏には新緑の緑が、そして秋には紅葉が鮮やかに色づき、多くの人々を魅了しています。

特別展「天覧山」では、飯能市立博物館の5人の学芸職員がそれぞれの視点・切り口から天覧山について新たな魅力を紹介します。さらに、三島由紀夫の「『美しい星』創作ノート」（山中湖文学の森・三島由紀夫文学館蔵）、戦前に作成された「ハンノウツツジ」の標本（東京大学大学院理学系研究科附属植物園蔵）など、飯能では初公開となる貴重な資料も展示します。また、アニメ「ヤマノススメ Next Summit」に関する展示もあります。

埼玉県名勝指定100周年記念 特別展「天覧山」概要

期間

令和4年10月16日（日）～12月11日（日）

※毎週月曜日、11月4日（金）、24日（木）休館

※入館無料

開館時間

9:00～17:00

展示内容

第1章 天覧山の自然とその成り立ち

第2章 愛宕山から羅漢山そして天覧山へ

第3章 本多静六の描いた夢 ～「飯能遊覧地」と天覧山～

第4章 記憶と記録で振り返る東雲亭と覧山荘

第5章 「舞台」としての天覧山

特別展チラシイメージ



飯能市を代表する観光地の天覧山は、縁起のシンボリックな存在であり、古くから多くの
人々を魅了してきました。今年、大正11（1922）年に天覧山が埼玉県初の名勝に指定
されてから100周年の記念すべき年です。
自然や歴史、文化など、魅力がいっぱい詰まった天覧山。本館では、5人の当館学芸員
が、それぞれの視点、切り口から天覧山について掘り下げ、新たな魅力を紹介します。また、
三曲由紀夫の「美しい山」創作ノート（山中瀬村立山中瀬文学の森・三曲由紀夫文学
館蔵）や「ハンノクワジツ」脚本（東京大学大学院理学系研究科附属植物園蔵）、アニメ「サ
マノスス」関連グッズ（株式会社 KADOKAWA・株式会社 エイトビット提供）など、当館
では初となる貴重な資料も展示します。
天覧山麓にある当館ならではの特別展「天覧山」に、ぜひお越しください。

特別展 天覧山

埼玉県名勝指定100周年記念

第1章 天覧山の自然とその成り立ち
第2章 愛宕山から羅漢山そして天覧山へ
第3章 本多静六の描いた夢 ～「飯能遊覧地」と天覧山～
第4章 記憶と記録で振り返る東雲亭と覧山荘
第5章 「舞台」としての天覧山

特別展開演準備（中心）

＜開演準備＞
・会場 飯能市市民会館会議室202
・定員 30名（申込順）
・内容等 ①本多静六の公園計画思想と天覧山
講師：小野良平氏（立教大学教授）
日時：10月30日（日）午後2時～4時
②チャートが語る天覧山の思い出たち
講師：久津間文隆氏（大東文化大学講師）
日時：11月25日（祝）午後2時～4時

＜植物観察会＞
・日時 11月12日（土）
①午前9時30分～正午
②午後1時30分～午後4時
・講師 山下雅氏（埼玉県総合文化振興機構調査課理事）
・定員 各回10名（申込順）

＜学芸員による見どころ解説＞
・日時 ①11月19日（土）、②12月3日（土）
午前10時～30分程度
・会場 当館学習研修室
・定員 各回10名（申込順）
※いずれの学芸員も申込方法等の詳細は当館ホームページをご覧ください。

飯能市立博物館
Hanno Municipal Museum 飯能市立博物館

〒357-0063 飯能市飯能大字新館259-1
電話 042-972-1414
メール museum@city.hanno.lg.jp
アクセス
飯能駅北口または東武東上線飯能駅北口より名
東方面へバス「飯能会館・博物館」バス停
下車徒歩5分、またはJR飯能駅南口より東
上線バス「天覧山下り」バス停下車徒歩
5分、飯能駅北口より徒歩約20分。

この件に関するお問い合わせ

飯能市立博物館

電話/042-972-1414 FAX/042-972-1431 E-mail/museum@city.hanno.lg.jp